

平成 17 年度 市民環境調査

川越の樹めぐり



平成 17 年 8 月
川越市

目 次

市民環境調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

川越の樹めぐりコース・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

川越の樹めぐりアンケート結果・・・・・・・・・・ 6

配布資料

市民環境調査「川越の樹めぐり」実施報告

1. 目的

市内の巨樹・古木・名木を調べ、長い時代を生きてきた樹木の偉大さを感じ、あわせて緑の大切さを学ぶ。

身近な樹木に関心を持っていただき、併せて緑の保全に対する意識を高める。

「川越の巨樹・古木・名木めぐり」及び「川越グリーンマップ」発刊のコマーシャルを行う。

2. 調査日

平成17年8月25日(木) 9:00~12:10

3. 方法

冊子「川越の巨樹・古木・名木めぐり」を参考に実施

- ・冊子内の樹木から数本をピックアップし、市街地コースを設定し、実際に歩き、観察を行う。
- ・途中、巨木について、幹周りの測定を行い、データを収集するとともに、参加者に正しい測定方法を学習する。

当日の予定	8:50	川越クリアモール内クリアパーク集合、概要説明
	9:15	クリアパーク出発
	9:15~11:50	市街地コース調査 (1箇所幹周りを測定) 出世稻荷神社の大イチョウ 喜多院公園の大イチョウ 喜多院の天海僧正お手楯 喜多院の三本イチョウ 東照宮のエドヒガンサクラ 富士見櫓跡のクスノキ 三芳野神社のクスノキ
	11:50	博物館会議室にて総括、アンケートなど
	12:10	解散

4. 講師

川越巨樹・古木の会 会長 金子 晃 氏
助手 山賀昭八 氏

5. 参加者 広報川越7月25日号お知らせパック及び川越市ホームページで募集

対象は市民、(対象年齢は小学生以上とし小学生は保護者同伴とする)
12名の参加

6. スケジュール

応募 (7月25日号広報及びホームページで募集 8月1日(月)から受付)

調査日 8月25日(木) 9:00から12:10

報告書作成及び配布(9月)

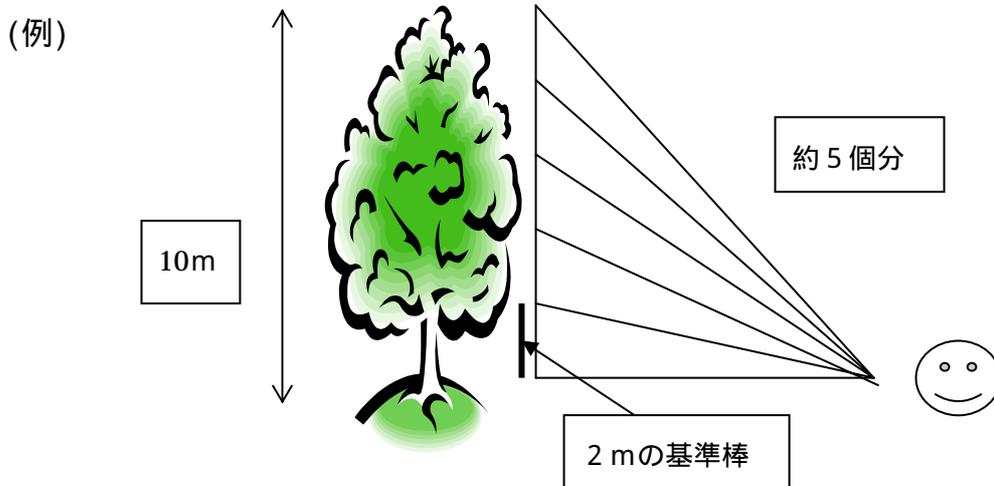
参考

幹周りの測定方法

地面から130cmの地点から、計測する。
樹木は、デコボコがあるため、ガムテープで抑えながら計測する。

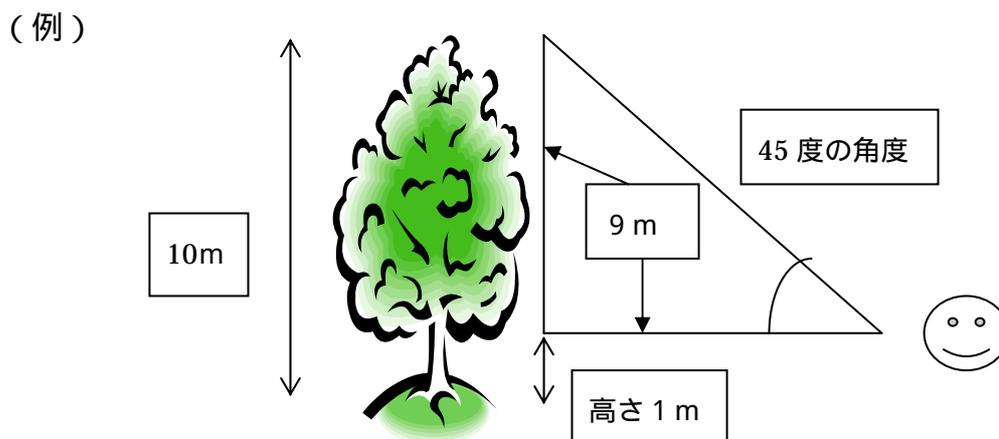
樹高の測定方法

- 2メートルの棒を使って推測する場合
- ・ある程度、離れた場所から2メートル分の幅を鉛筆などで大きさを決める。
 - ・その幅の何個分か推測して、大体の長さを測る。



三角関数の比で計算する方法

- ・例えば、地上1メートルの位置から45度の角度で頂上があるとすれば、樹との距離と高さは同じ長さになる。



川越の樹めぐりコース

- | | | | |
|----------|---------|---------|-------|
| 1.出世稲荷神社 | 2.喜多院公園 | 3.喜多院 | 4.喜多院 |
| 5.東照宮 | 6.富士見櫓跡 | 7.三芳野神社 | |

1. 出世稲荷神社

樹種：イチヨウ

特徴：神社境内の入り口に、川越最大の幹周りを誇るイチヨウが二本そびえ立つ。樹齢は600年余りと推定されている。市街地の巨樹は、枝が伸びると切られ、落葉樹は落ち葉の苦情が絶えないので残念である。



市内最大の巨樹であるイチヨウ

2. 喜多院公園

樹種：イチヨウ

特徴：公園中央にあるイチヨウの巨樹は、芽吹いた枝がコブとなったごつごつとした幹が特徴的である。根元があらわになっており、土が盛ってあったものが削られたものと推測できる。また、1m付近は石が樹木の肌と一体化している。巨樹としては、このイチヨウは異形なものである。



根元があらわになっているイチヨウ



樹木の肌と一体化している石

3 . 喜多院

樹種：コウヤマキ、アカマツ、シダレサクラ

特徴：コウヤマキは、天海僧正により手植えされたことから天海榎と呼ばれている。無残な姿は、雷の跡とも大風の跡とも言われている。
アカマツは日本人に好まれている。このアカマツは、枝が不思議な曲がり方をしている。
手前のシダレサクラは、ソメイヨシノより、やや早く咲き、見事な花を咲かせる。



コウヤマキ



枝がねじ曲がっているアカマツ



シダレサクラ

4 . 喜多院 トイレの脇

樹種：イチョウ

特徴：すらっと直立する三本のイチョウは、非常に接近しているため、見る方向によっては二本に見える。イチョウは接触すると一体化していく傾向がある。



三本イチョウ



左の樹と中央の樹が一体化している

5 . 東照宮
樹種：エドヒガンサクラ
特徴：ソメイヨシノより高木で、咲く時期も彼岸頃と少し早い。近くより、むしろ遠くから離れて見た方が適しているかもしれない。境内の中央に植えられているが、誰が何のために植えたのかは不明。



花の咲く位置が高い
エドヒガンサクラ

6 . 富士見櫓跡
樹種：クスノキ、イチョウ
特徴：多くの樹々の中にあって、クスノキがひととき存在感を示す。これは「枝おろし」がされていないため、枝が四方に向かって伸びているためである。 クスノキは、県立川越高校と川越小学校にもシンボルとしてあり、これら3本は1直線となる。なぜ植えられたのかは謎である。



上下水道局から見たクスノキ



横へと生い茂るクスノキ

7 . 三芳野神社
樹種：クスノキ
特徴：社殿右側にあるクスノキは、地上3m付近で幹分かれし、力強い根張りでこれを支えている。台風によって大枝が折れ、多くの枝を剪定した経緯を持つ。



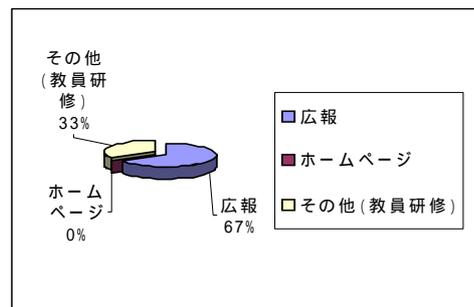
大枝が折れているクスノキ

「川越の樹めぐり」アンケート結果

参加者12名でアンケート回収が12名

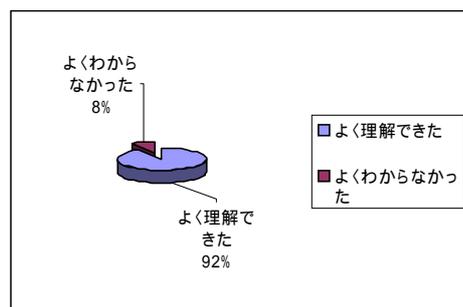
1. 何を見て(だれから聞いて)参加しましたか?

広報・・・8名
川越市のホームページ・・・0名
その他(教員の研修として)・・・4名



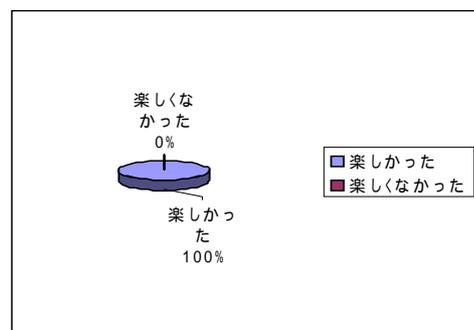
2. 今回の調査の内容は理解できましたか?

よく理解できた・・・11名
 ・ 樹木とその生育環境
 ・ 何百年と生きている巨木の生育に敬服
 ・ 樹の由来や物語、役割や効果
 ・ 幹周りや高さの測定方法
 よくわからなかった・・・1名
 ・ 広報で見た限りでは、単なる樹を見て回るツアーとっていたから。



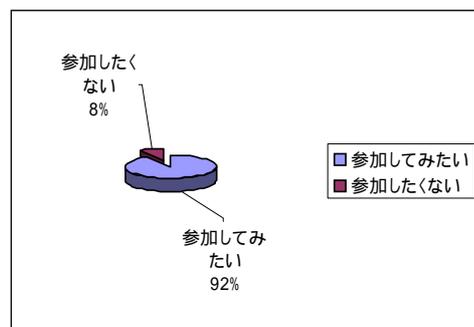
3. 今回の調査に参加して、どうでしたか?

楽しかった・・・12名
 ・ 樹の特性のほか、樹の生い立ちや背景を知った。
 ・ 樹の歴史と人(社会)の歴史の関わりがわかった。
 ・ 美しさに見とれた。
 ・ 今まで見たり、考えたりしたことのない視点で巨木を捉えることができた。
 ・ 樹を通して人の生活を想像することが楽しかった。
 楽しくなかった・・・0名



4. 今後、行われる緑の保全活動や調査に参加してみたいですか?

参加してみたい・・・11名
 ・ 定点観測的なものに
 ・ 先生の説明から樹に対する愛情が伝わってきた。
 ・ ボランティア活動として
 ・ 子供たちといっしょに活動できれば良い。
 ・ 貴重な樹を守っていくためにも、勉強したい。
 参加したくない・・・1名
 ・ 具体的に何をするのか見えていないから



5 . 次はどんなことをしたいですか？

- ・ 木に対する知識を深め、身近な木や緑が増えていくといいなと思う。
- ・ 巨木を絵に描いて、その偉大さを称えたい。
- ・ 座学で、植物や樹の育て方を教えてほしい。
- ・ 歴史を交えながら、川越周辺の巨樹めぐりをしたい。
- ・ 大気汚染や水質汚濁の調査やツアー、その対策などを見学したい。
- ・ 雨のため無理だったが、樹木の測定や調査を実際やってみたかった。

6 . 自由意見

- ・ 樹を見るには、一時だけでなく、年間を通してその変化を見ていくことが本当はいいのだと思う。
- ・ 子供たちが参加していれば、なお良かったのではないか。
- ・ 個人の記念樹等を川や公園などに植えさせてほしい。
- ・ あいにくの雨天であったが、思い切って参加してよかった。
- ・ 樹木を通して、人との関わりにその歴史についてのお話が豊富で有意義な時間を過ごせた。
- ・ 総合的な学習の中でも役立てていきたい。
- ・ 天気がいい時にじっくり見たかったと少し残念。
- ・ 今までなら、すごい大木だなどで終わってしまうところを、その背景や生活を想像する楽しみ方の視点をいただいた。
- ・ 樹の測定から授業の展開へのヒントとなり、大変勉強になった。

配布資料

主に「かわごえの巨樹・古木・名木めぐり（平成 14 年 12 月川越市発行）」を参考に作成

川越の樹めぐりコース



川越の樹めぐり

名前

No.	場所・樹種	メモ
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

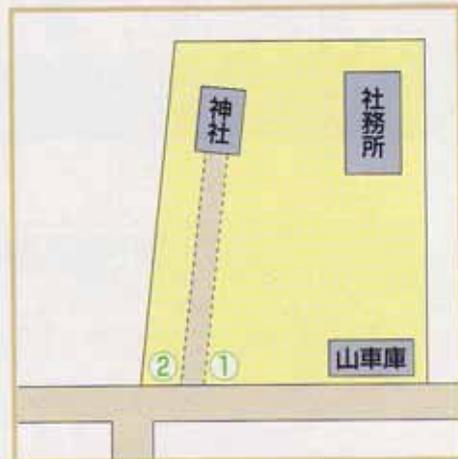
	樹種	幹周り
幹周り測定		m cm

	樹種	幹周り
幹周り測定		m cm

⑫ 出世稲荷神社の大イチョウ <市指定天然記念物>

稲荷神社の境内の入口に2本が並び立ち、ともに端正な幹をもつ巨樹であり、近づくとその大きさに圧倒される。

市街地にありながら川越で最大の幹周りの巨樹であり、樹齢は600余年と推定される。11月下旬に色づいた姿は見事。落葉が多く近隣の方達が行う清掃は大変な量だが、大切に見守られている巨樹である。



イチョウ

幹周り ①576cm ②780cm

⑦喜多院公園の大イチョウ

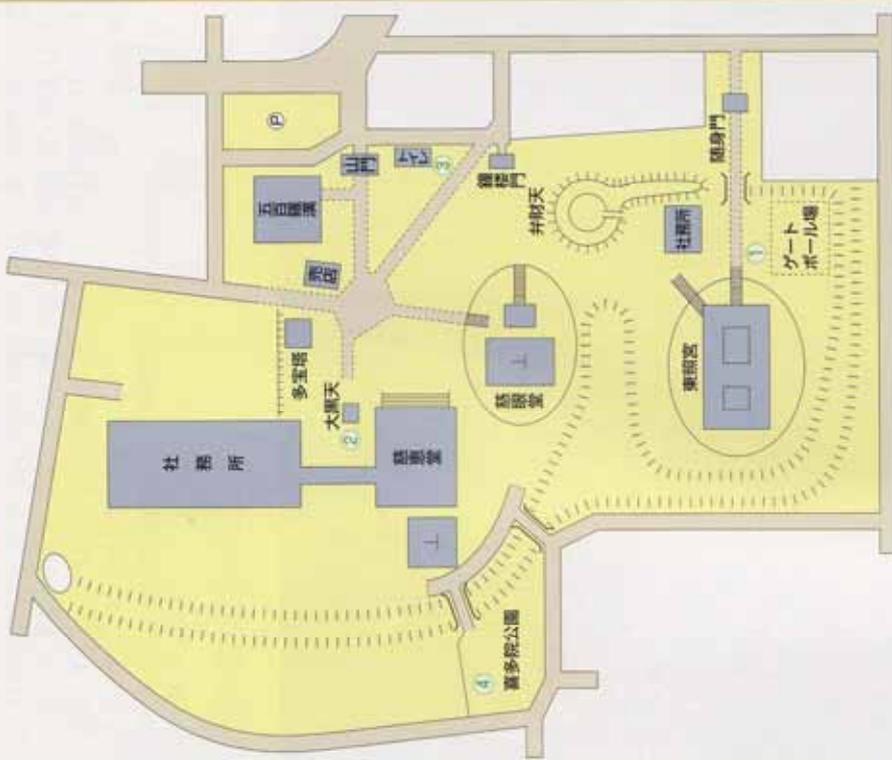
喜多院の境内をぬけ、奥の公園の中央にあるイチョウの巨樹。太い幹、芽吹いた枝がコブになり、ごつい幹をみせている。4月下旬、新芽が出て、花が咲く時が見頃となる。



④イチョウ

幹周り 737cm

東照宮・喜多院・喜多院公園



富士見橋跡へ 900m(12分)



⑥ 喜多院の天海僧正お手植横と三本イチョウ

天海僧正お手植横

天海横と名前のついたこのコウヤマキは、大黒天の裏にあり、直幹ですくくと立ち、木肌に割れ目が出て年輪の多さを見せている。柵囲いされ、大切にされている樹である。境内は市の文化財（史跡）に指定され、客殿ほか5棟が国の重要文化財（建造物）に指定されている。

(位置図は15ページ)



②コウヤマキ

幹周り 351cm



根元

三本イチョウ

山門を入ると、左手に3本接近して並び立つ巨樹。見る方向によって2本にも見える。初冬の黄葉と落葉は見事である。

(位置図は15ページ)



③イチョウ

幹周り 362cm 584cm 342cm

③中院のシダレザクラ

本堂に向かって右側にあり、川越で最も早く咲くシダレザクラ。境内の桜は30本を数え、シダレザクラは5本ある。この他にも見応えのある樹木が多数あり、川越第一の庭園である。

境内は市の文化財（史跡）に指定されている。



①シダレザクラ

幹周り 209cm

三菱稲荷へ 700m(9分)



②タギョウシヨウ (多行松)



③大正天皇御手植松 (クロマツ)



④キンモクセイ

⑤東照宮のサクラ（エドヒガン）

通称、信綱桜と呼ばれ、石鳥居の左側に2本ある。鳥居近くの樹は柵囲いされており、共に幹周り250cmを超える古木。川越では最大級のサクラで、樹高が高く、小粒の花をつけた姿には気品がある。

境内は市の文化財（史跡）に指定され、また本殿ほか5棟が国の重要文化財（建造物）に指定されている。

（位置図は15ページ）



①サクラ（エドヒガン）

幹周り 269cm

⑧ 富士見櫓跡のクスノキ

小高くなっている川越城富士見櫓跡地、東南の角地中段にあるクスノキ。多くの樹木がある中で際立つ巨樹であり、高くそびえ、枝を四方に伸ばしたこの樹は、速くからも望むことができる。

一帯は「川越城跡」として県の文化財（史跡）に指定されている。



クスノキ 幹周り 444cm



根元

三芳野神社へ 350m(5分)

⑨ 三芳野神社のクスノキ

社殿右側にあるクスノキは、端正な根張りをみせる。地上3mのところまで幹分れし枝葉を広げていたが、台風により大枝が折れ、多くの枝を剪定した。現在は、小枝が勢い良く出て、太い枝の先が丸く茂っている。天神様に学業成就の絵馬をかける姿を見守ってきた巨樹である。

社殿・蛭子社・大黒社は、県の文化財（建造物）に指定されている。



クスノキ 幹周り 454cm



根元

バス停(市役所前)へ 800m(10分)

市民環境調査「川越の樹めぐり」アンケート

なまえ
名前

1. 何を見て（だれから聞いて）参加してくれましたか？

こうほう かわごえし
広報 川越市のホームページ

ポスター・チラシ → どこで見ましたか

その他 →

2. 今回の調査の内容は理解できましたか？

よく理解できた → どの部分が理解できましたか？

よくわからなかった

3. 今回の調査に参加して、どうでしたか？

たの 楽しかった → どうして？

たの 楽しくなかった → どうして？

4. 今後、行われる緑の保全活動や調査に参加してみたいですか。

参加してみたい → どうして？

参加したくない → どうして？

5. 次は、どんなことをしたいですか？

6. 自由に意見を書いてください。

平成17年度 市民環境調査

川越の樹めぐり 報告書

平成17年8月25日(木)開催

発行元 川越市環境部環境政策課

〒350 - 8601 川越市元町1 - 3 - 1

:049 - 224 - 8811(代表)

FAX:049 - 225 - 9800

E-mail : kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp



さつまいも伝来 400 年記念
シンボルキャラクター「紅ちゃん」

この冊子は、古紙配合率 100% (本文)、古紙配合率 70% (表紙) の再生紙を使用しています。

R100 R70